

1. 科目名 (単位数)	学校保健学 (学校安全を含む) (2 単位)	3. 科目番号	EDHE2302
2. 授業担当教員	石垣 久美子		
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	学校保健は、児童、生徒、学生並びに幼児の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果に資するための学問である。教育基本法、学校教育法、学校保健安全法の法令が、学校教育課程にある子どものよりよい成長と学校教育の円滑な実施を支援している。本講義では、学校保健の構造やその意義、法的な位置づけなど、基礎的かつ重要な事項について習得し、それぞれの領域での取り組みの実際について学ぶ。また、各自が目指す職種の立場からの参画の仕方について、主体的に考えることを目指す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校保健の意義、構造、内容について理解し、説明することができるようになる。</li> <li>2 保健教育の中の、保健学習と保健指導について、その位置づけや実践のあり方について理解し、説明することができるようになる。</li> <li>3 保健管理の心身の管理、生活の管理、学校環境の管理について理解し、その実践のポイントを習得する。</li> <li>4 児童生徒の現代的健康課題と、これに応じた学校保健活動の進め方について習得する。</li> <li>5 学校保健推進にかかわる教員として、健康増進にとって不可欠な内容について具体的に学び身につける。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業毎に、講義内容についての感想、まとめに関する小レポートを出題する。</li> <li>・中間課題レポート：保健指導案の作成 『歯についての保健指導』</li> <li>・最終課題レポート：自らの目指す職種において、学校保健活動にどのように参画することが求められるのか、自らの考えを記述する。(800字程度)</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】徳山美智子・竹鼻ゆかり編著 『新版 学校保健 チーム学校で取り組むヘルスプロモーション』 東山書房</p> <p>【参考書】学校保健・安全実務研究会編著『新訂版 学校保健実務必携』第一法規</p> <p>【教 材】テーマごとに文部科学省等から発行されている資料を配布</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健の意義、構造、内容について理解し、説明することができたか。</li> <li>2. 保健教育の中の保健学習と保健指導について、その位置付けや実践の在り方について理解し、説明することができたか。</li> <li>3. 保健管理の心身の管理、生活の管理、学校環境の管理について理解できたか。</li> <li>4. 児童生徒の現代的健康課題と、これに応じた学校保健活動の進め方を修得できたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 (下記を総合して成績評価をする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加態度 (30%)</li> <li>2. 授業ごとに提出する授業への振り返り (30%)</li> <li>3. 小テスト・課題レポート (40%)</li> </ol> <p>上記のほかに、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の修得の条件であることをも配慮する。</p>		
12. 受講生への メッセージ	学校保健は、児童生徒の健康や発達を支援する上で、また学習の機会を保障する上で、大変重要な領域です。それぞれの目指す職種の立場から、また学校保健という視点から、どのように児童生徒を支援することができるのか、講義の中で主体的に考える姿勢を期待します。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 学校保健の構造領域 ・学校保健とは ・ヘルスプロモーション	事前学習	これまでの学校保健についての既習事項について、復習しておく。教科書 pp2～38 / pp104～117 を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	学校保健の構造領域について理解したことを総括し、自分の考えをまとめる。
第 2 回	学校保健の今 ・平成 20 年中央教育審議会答申を読み解く	事前学習	事前に配布する、中央教育審議会答申を熟読し、記載されている内容をまとめておく。
		事後学習	講義時間内のディスカッションを総括し、現在の学校保健活動に求められている事項について、自分の考えをまとめる。
第 3 回	保健教育 ①教科における保健教育の特徴 ・健康に関する課題を解決する学習活動	事前学習	学校保健実務必携の保健教育 (教科学習) に関するページ (pp. 546～694)、教科書 pp152～162 を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	教科における保健教育に関するディスカッションを総括し、自分の考えをまとめる。
第 4 回	②特別活動における保健教育の特徴 ・ライフスキル教育の体験	事前学習	学校保健実務必携の保健教育 (特別活動) に関するページ (pp. 559～694) を参照し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	児童生徒の生活改善につながる保健教育のあり方について、自分の考えをまとめる。

第5回	③児童生徒の現代的健康課題と保健教育 ・性教育を進める際の留意点	事前学習	学校保健実務必携の性教育に関するページ(pp794～811)を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	保健指導案作成の方法について、第3～5回の講義内容を復習し、保健指導案の作成にあたり資料準備を始める。
第6回	保健管理 ①児童生徒の健康診断 ・教育的活動としての健康診断(事前指導を中心に)	事前学習	学校保健実務必携の健康診断に関するページ(pp.167～180)を参照。教科書pp174～188を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	健康診断における事前指導に関するディスカッションを総括し、自分の考えをまとめる。
第7回	②健康観察 ・健康観察の観点	事前学習	学校保健実務必携の健康観察に関するページ(pp.181～197)を参照。教科書pp163～173を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	健康観察に関するディスカッションを総括し、その留意事項について自分の考えをまとめる。
第8回	③健康相談 ・健康相談の基礎と事例検討	事前学習	学校保健実務必携の健康相談に関するページ(pp.392～409)を参照。教科書pp189～203を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	健康相談に関するディスカッションを総括し、その留意事項について自分の考えをまとめる。
第9回	④学校救急処置 ・救急処置体制の重要性 ・学校事故における裁判の判例から	事前学習	学校保健実務必携の学校救急処置に関するページ(pp.1062～1082)を参照。教科書pp212～223を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	学校事故の事例に関するディスカッションを総括し、その留意点についてまとめる。
第10回	⑤学校環境衛生 ・定期検査、日常点検、臨時検査 ・日常点検の実践	事前学習	学校保健実務必携の学校環境衛生に関するページ(pp.80～165)を参照。教科書pp253～262を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	教室内の日常点検を実施して気づいたことや感じたことをまとめる。
第11回	学校安全 ・学校安全の基礎的事項 ・安全点検の実践	事前学習	学校保健実務必携の学校安全に関するページ(pp.969～1061)を参照。教科書pp263～274を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	教室内の安全点検を実施して気づいたことや感じたことをまとめる。
第12回	児童生徒の健康課題 ・児童のかかりやすい疾患 ・歯科疾患と学校保健 ・作成した保健指導案の振り返り	事前学習	学校保健実務必携の歯・口の健康づくり(pp712～762、pp447～473/pp475参照)教科書pp39～48、pp240～252、を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	事前に作成した歯についての指導案を再検討し、気づいた点、改善点をまとめる。
第13回	児童生徒の発育発達と体力 ・学校保健統計調査から ・体力・運動能力調査から	事前学習	最新の学校保健統計調査、体力運動能力調査に目を通し、児童生徒の特徴をつかんでおく。教科書pp120～149を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	児童の発育発達・体力の現状から、学校が推進することのできる対策をまとめる。
第14回	精神の健康・障害のある児童生徒への対応 ・いじめ問題への対応の在り方	事前学習	事前に配布するいじめに関する資料を熟読し、自分の考えをまとめておく。教科書pp224～239を熟読し、基礎的事項を整理しておく。
		事後学習	児童のいじめに関する現状から、学校が推進することのできる対策をまとめる。
第15回	まとめ:「学校保健への参画のあり方」 ・最終課題レポートに記載した内容に基づいて、グループディスカッションを行う。 ・学校保健活動推進のポイントを共有する。	事前学習	最終課題レポートの作成
		事後学習	グループディスカッションを通して新たに得た考え方を踏まえ、全講義内容を振り返る。